



アイスです。よろしくお願いします！

介助犬普及推進室ニュース 補助犬特大号！！

「介助犬アイス誕生！～補助犬との人生～」

11月1日、岡山で待望の2頭目の介助犬「アイス」が誕生しました！ユーザーの江口さんは、アイスと暮らすための訓練を愛知と岡山で行いました。吉備リハでの受診訓練もありましたよ。江口さんはC6頸髄損傷で、足にも腕にも体の中にもマヒがあります。体を自由に動かすことや力のいること、指も効かず細かいことができ

ませんが、お仕事にプライベートにがんばっておられます！もともとアクティブだったのですが、たった一

度の人生を、もっともっと広げたい！と、介助犬との生活を選択されました。一人でいる時でももっとアクティブに安全に！今までとっても時間がかかっていた事も、アイスの介助で短縮できることがあればその分、もっともっといろいろなことにチャレンジしたい！その思いがバニラアイス色の介助犬・アイスの誕生に結び付きました。アイスとの新しい人生、たくさんの素晴らしいことがありますように！



盲導犬オラフ号 岡田家の宝物です

さて、今回は特大号です。介助犬の他の「**身体障害者補助犬**」の紹介をさせていただこうと思います。

身体障害者補助犬は**介助犬**の他に、視覚障害者のための「**盲導犬**」、聴覚障害者のための「**聴導犬**」がいます。

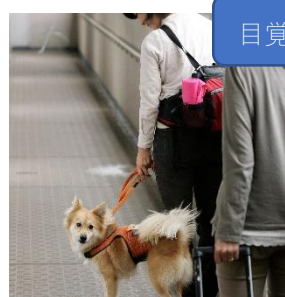
・盲導犬ユーザーの岡田さんは、盲導犬オラフ君と暮らしています。通勤や買い物、散歩に・・・と、どこでもオラフ君と一緒にです。

そんなある日の、いつもの交差点での出来事です。交差点の信号機が新しく変わってしまいました。青信号

の音楽を待って、信号を渡ろうとした岡田さんは「あっ 困った！！」新しい信号は全方向から同じ音楽が一斉に流れるのです。岡田さんはすっかり方向感覚を失ってしまい、どちらに進めばいいかわからず立ちすくんでしまいました。

岡田さんはオラフ君を信じて「オラフ ゴー！」するとオラフ君は自分から岡田さんをリードしたのです！オラフ君との一步一步・・・そして、無事に家に帰ることができました。岡田さんからメッセージです「盲導犬と生活するようになり、出かけて活動させて頂く幅が広がりました。

楽しいです！」



目覚まし鳴ったよ！



東さんとあみのすけ

写真提供：@日本補助犬情報センター

・聴導犬ユーザーさんからは、こんなメッセージをいただきました。

「こんにちは！東 彩（あずまあや）&聴導犬あみのすけです。

聴導犬は、家の中のお仕事が多いイメージがありますが、外出したときに後ろから来る車や自転車

の接近音を私に伝え、聴導犬の表示のあるケーブルで『私が聞こえない人だよ』と周りに知らせてく

れる心強いパートナーでもあります。昔から困っていたのは、しょっちゅう鍵をなくしていたこと。

部屋の鍵をバッグに入れたつもりで落としたのに聞こえず、何時間もたって帰ろうとした時にやっと気づくのです。

『鍵がない！車にも乗れない～家にも入れない～』と途方にくれたこともありました。

通りすがりの人に代わりに電話を頼んで大家さんに部屋を開けてもらったり、家族が帰るのを待ったりしたことも。

鍵を落としたときの『かちゃん！』この金属音に気づかないために、いったい鍵をいくつ買い直したことでしょ...

でも、聞こえないから気づかないのは当たり前と変な思い込みがあり『聴導犬にこの音をおしえてほしい』とリクエストはしていませんでした。

認定試験に受かって間もない頃です。家を出てすぐ、あみのすけが急に地面に顔を近づけ鍵をじ〜っと見つめてくれたのです。『やっと鍵を落とした事に気づけた〜自分で考えて動いてくれたんだね、ありがとう！』

おかげであみのすけと一緒にいる10年間、鍵を買い直す事なく過ごせています。」

このように、補助犬たちは体や目や耳に障害を持つ方の安全を守ってくれたり、今までできなかったことをするお手伝いをしてくれたり、人の輪を広げてくれたりもします。

街で補助犬にあったら、犬には優しい無視を！ユーザーさんには優しい声かけをよろしくお願いいたします！